



平成30年2月期 第4四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中井 俊宏 TEL 06-6343-2600
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第4四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第4四半期	39,284	—	4,929	—	4,921	—	2,679	—
28年12月期	38,719	1.5	5,452	2.2	5,477	2.6	3,015	11.3

- (注) 1. 包括利益 30年2月期第4四半期 2,814百万円 (—%) 28年12月期 3,104百万円 (10.8%)
 2. 平成30年2月期は決算期変更により14ヶ月決算となっておりますので、対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 3. 平成28年12月期については、通期の数値を記載しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第4四半期	157.78	—
28年12月期	177.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第4四半期	32,984	24,066	70.0	1,358.64
28年12月期	30,484	22,095	69.6	1,249.73

(参考) 自己資本 30年2月期第4四半期 23,075百万円 28年12月期 21,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	—	50.00	50.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,100	—	3,800	—	3,810	—	1,820	—	107.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 平成30年2月期は決算期変更により14ヶ月決算となっておりますので、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期4Q	17,185,650株	28年12月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	30年2月期4Q	201,418株	28年12月期	201,318株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期4Q	16,984,287株	28年12月期	16,984,341株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第4四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第4四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は決算期変更に伴い、当事業年度は14ヶ月の変則決算となっております。このため、前年同四半期との比較はおこなっておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第4四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など、緩やかな回復基調にあるものの、個人消費については、依然として力強さが見られず、先行き不透明な状態が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました

以上の結果、当第4四半期連結累計期間の売上高は39,284百万円、営業利益は4,929百万円、経常利益は4,921百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,679百万円となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、年間売上高の約4割を占める七五三撮影において、「七五三キャンペーン」および「七五三お出かけ着物レンタル」の実施に加え、大人用撮影着物をご準備し、お子様と一緒に和装でお写真をお撮りいただくことができる「パパママ着付フォトプラン」を約450店舗で実施し、更なる撮影件数の獲得に努めました。また、前年まで一部地域で実験的に行っておりました衣装の在庫共有を全国（北海道、沖縄除く）に広げ、衣装利用効率の向上と衣装導入費用の削減に向けた取り組みも行いました。

国内こども写真館の出店状況は、移転6店舗を含み23店舗出店、退店8店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を15店舗実施いたしました。そのほか、アミューズメント写真館1店舗、ペット写真館1店舗を退店いたしました。

その結果、当第4四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館512店舗（直営店舗502店・フランチャイズ店舗10店）、韓国の子会社におけるこども写真館3店舗を含め、515店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は39,218百万円、セグメント利益は5,237百万円となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、当社向け衣装の更なる生産効率の向上によるコスト低減を図るとともに、引き続き、成人振袖レンタル事業の売上規模拡大を図るべく、常設店舗での展示予約会、並びに、その店舗を起点とした各地の商業施設等での期間限定展示予約会を実施いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,613百万円、セグメント利益は38百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第4四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ2,499百万円増加の32,984百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,945百万円増加の15,136百万円となりました。

固定資産は、新規出店及び改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ554百万円増加の17,847百万円となりました。

② 負債の状況

当第4四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ528百万円増加の8,918百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ39百万円増加の5,464百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ489百万円増加の3,454百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第4四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,970百万円増加の24,066百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益などによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第4四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,315百万円増加し9,557百万円となりました。当第4四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純利益4,452百万円、減価償却費3,010百万円、法人税等の支払額2,012百万円などにより5,883百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出4,192百万円などにより4,109百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、主にセール・アンド・リースバックによる収入1,114百万円、配当金の支払額849百万円などにより460百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第4四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第4四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,702,052	10,018,053
受取手形及び売掛金	959,431	1,063,195
たな卸資産	1,359,381	1,510,831
その他	2,209,603	2,575,986
貸倒引当金	△39,000	△31,070
流動資産合計	13,191,468	15,136,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,369,720	8,408,184
その他(純額)	3,450,617	4,027,939
有形固定資産合計	11,820,337	12,436,123
無形固定資産	1,281,172	1,191,417
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,342,738	3,332,238
その他	1,082,638	1,112,166
貸倒引当金	△233,435	△224,235
投資その他の資産合計	4,191,940	4,220,169
固定資産合計	17,293,451	17,847,710
資産合計	30,484,919	32,984,706
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,114	379,967
短期借入金	—	150,000
未払法人税等	1,130,051	864,596
賞与引当金	80,200	78,887
その他	3,913,754	3,990,624
流動負債合計	5,424,120	5,464,076
固定負債		
退職給付に係る負債	888,906	989,322
資産除去債務	1,289,883	1,336,473
その他	786,664	1,128,675
固定負債合計	2,965,453	3,454,472
負債合計	8,389,574	8,918,548

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第4四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	17,455,687	19,292,337
自己株式	△275,722	△275,983
株主資本合計	21,121,363	22,957,753
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	104,523	117,735
その他の包括利益累計額合計	104,523	117,735
非支配株主持分	869,457	990,669
純資産合計	22,095,345	24,066,157
負債純資産合計	30,484,919	32,984,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第4四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第4四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年12月31日)
売上高	39,284,425
売上原価	27,194,777
売上総利益	12,089,647
販売費及び一般管理費	7,159,741
営業利益	4,929,906
営業外収益	
受取利息	2,064
受取家賃	27,203
為替差益	2,590
雑収入	19,065
営業外収益合計	50,924
営業外費用	
支払利息	7,484
店舗解約損	42,612
雑損失	9,597
営業外費用合計	59,694
経常利益	4,921,135
特別損失	
固定資産廃棄損	178,949
減損損失	289,914
特別損失合計	468,863
税金等調整前四半期純利益	4,452,271
法人税、住民税及び事業税	1,658,003
法人税等調整額	△6,690
法人税等合計	1,651,312
四半期純利益	2,800,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	121,212
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,679,747

(四半期連結包括利益計算書)

(第4四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第4四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,800,959
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	13,211
その他の包括利益合計	13,211
四半期包括利益	2,814,170
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,692,958
非支配株主に係る四半期包括利益	121,212

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第4四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,452,271
減価償却費	3,010,921
のれん償却額	9,648
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17,130
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,654
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	100,416
受取利息	△2,064
支払利息	7,484
為替差損益 (△は益)	196
固定資産廃棄損	178,949
減損損失	289,914
売上債権の増減額 (△は増加)	△102,050
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△143,045
仕入債務の増減額 (△は減少)	79,470
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△162,642
前受金の増減額 (△は減少)	97,927
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△161,675
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	173,867
その他	60,517
小計	7,871,322
利息の受取額	2,330
利息の支払額	△7,484
法人税等の支払額	△2,012,828
法人税等の還付額	30,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,883,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△16
有形固定資産の取得による支出	△3,443,486
貸付金の回収による収入	1,200
無形固定資産の取得による支出	△565,046
敷金及び保証金の差入による支出	△183,972
敷金及び保証金の回収による収入	190,625
その他	△108,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,109,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000
セール・アンド・リースバックによる収入	1,114,149
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△875,661
自己株式の取得による支出	△261
配当金の支払額	△849,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△460,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,781
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,315,984
現金及び現金同等物の期首残高	8,241,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,557,588

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が6,120千円、利益剰余金が6,120千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第4四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,187,943	96,482	39,284,425	-	39,284,425
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	30,178	1,517,302	1,547,480	△1,547,480	-
計	39,218,121	1,613,784	40,831,906	△1,547,480	39,284,425
セグメント利益	5,237,419	38,521	5,275,940	△346,034	4,929,906

(注) 1. セグメント利益の調整額△346,034千円には、固定資産の調整額等△124,048千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△221,985千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗及びソフトウェアの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第4四半期連結累計期間においては289,914千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。